

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、
福祉サービスを必要とするす
べての人に仕え、日常を支援
し、常に人びとの人権を護り
その人格の尊厳を尊重します。

2025年度



今月のねらい

しいの実 友だちや保育者と関わり、好きなあそびを十分に楽しむ。

たんぽぽ 生活の中でたくさん身体を動かし、やりとりを交わしながら自分の思いを表す。

み ず 自分でできたことの喜びを感じながら身の回りのことを一人でしようとする。

か ぜ 友だちとあそびを楽しむ中で、関わりを深め、自分の思いや考えを言葉で伝える。寒さに負けず、身体をたくさん動かして元気にあそぶ。



2月の行事

3日(火) 豆まき



7日(土)~12日(木)

中京区保育園児絵画展

(会場：ゼスト御池寺町広場)

13日(金) 制作展 16:00~18:30まで

17日(火) 交通安全教室(全クラス対象)

18日(水) 卒園記念写真(たいよう組のみ撮影)

21日(土) 園庭開放 申込👉👉👉
(人形劇/ひみちゃたい)



27日(金) お誕生会

避難訓練…未定

個人面談…希望される方は職員室まで
お声掛けください。



諸費請求お知らせ

25日(水)

エンペイ支払い期日
25日(水)~27日(金)



園内は子どもたちの元気な声と笑い声に溢れ、不思議と寒さを忘れてしまいます。
今年度も残すところ2ヶ月となりました。
冬の遊びや楽しみを見つけながら、一日一日元気に過ごしたいと思います。

お誕生日おめでとう



園外保育(お弁当いります)



3月21日(土)は卒園式です。
そら組(4歳児)は共にお祝いしますので、
出席をお願いします。
※9時30分集合~11時頃お迎え予定です。



「わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。」
(ヨハネ15章12節)

「お互い愛する」ということは具体的にどのようなことなのでしょうか？

『みえるとかみえないとか』

(作ヨシタケシンスケ)という絵本より

この絵本の主人公は宇宙飛行士の地球人でいろいろな星の調査をすることが仕事です。ある時立ち寄ったのが前にも後ろにも目がついている宇宙人の星。目が前にしかついていない地球人を見て「えっ？ キミうしろに目がないの！ ? ヘンなの~、不便だねえ~」と宇宙人は言います。宇宙飛行士は「僕はこれが普通だから」と見え方が違うだけなのに気を遣われて変な気持ちになりました。

宇宙飛行士がその星を調べると、生まれつき後ろの目が見えない宇宙人が住んでいました。後ろが見えないことが同じなので、話が盛り上りました。また、前も後ろも見えない宇宙人もいます。そういう出会いを通して皆それぞれの人にしか分からない、その人だけの見え方と感じ方を持っていることに気づきます。そして自分と似ている人は「いいところも悪いところも分かるから安心できます。一方自分と違う人は「自分と何が違うか分からないしよく分からない」ので緊張してしまうと考えを深めていき「自分と違う人とでもお互いの工夫や失敗を教え合ったら分かり合える」という思いに至ります。最後に「考え方方が違っていてもどんな人にも自分と同じところがあるはず」と宇宙飛行士は考え「同じところを探しながら、違うところをお互いにおもしろがればいいんだね！」と次の星に旅立つのでした。

「違いをおもしろがる」とは「違いを喜び大切にする」ではないでしょうか。そして「お互いの違いを大切にする」ことは「互いに愛し合う」ということなのでしょう。

私たち一人ひとり違っています。その違いを喜び大切していく私たちでありたいと思います。園長 沼津 孝治

苦情解決委員会

苦情解決責任者 沼津 孝治

苦情受付担当者 松尾 恵美

第三者委員 花岡 尚樹 畑 健次郎

酒井 咲子

